

Passport

2023 春 Vol.49

男らしさ、女らしさにとらわれず、自分らしく暮らせる社会。お互いに認め合い、個性と能力を発揮できる佐賀市の実現をめざしましょう。

ひと・ひと
女・男
フォーラム



パパと子ども
の料理教室



家事・育児に
積極的な
お父さんを紹介



日本女性会議・
公開研修会



CONTENTS

- ひと・ひと
・女・男フォーラム……………P1～P2
- ・日本女性会議2022in鳥取くらよし 報告……………P5
- ・パパと子どもの料理教室……………P3
- ・ワーク・ライフ・バランス公開研修会……………P6
- ・男性の家事・育児参画キャンペーン……………P4
- ・SDGs (ジェンダー平等)……………P7

令和
4年度

ひとひと 女・男フォーラム

日時：令和4年10月16日(日) 13:30～15:30

会場：メートプラザ佐賀 多目的ホール

● 第一部 講演

はるな愛さん (タレント) 自分らしく、愛らしく ～人生って素晴らしい～

物心ついた頃から何となく感じていた「男の子」としての違和感が、小学生の黒いランドセルや男女別の身体検査、中学生時代の学生服で決定的になりました。大人が決める「男か女か」という区分に縛られ、誰にも理解されない苦しさから何度も自ら命を絶とうと考えました。ニューハーフのお店で性自認を偽らない生き方を知って、自分の居場所を見つけることができ、その後の経験や人間関係が現在の活動の原動力になっています。

個性を認め合い、多様性を尊重する社会、そして、少数派が特別視されない社会「みんな違ってみんないい、みんな一緒がもっといい！」を伝え続けていきたいです。



はるな 愛さん

大阪府出身。タレント活動や飲食店経営の他にも、被災地支援や子ども食堂など、多くのボランティアに力を入れてきている。

● 第二部 対談

そのままのあなたがとてもいい ～お互いを認め合い、多様性を尊重する社会へ～

登壇者 はるな愛さん、坂井英隆佐賀市長
コーディネーター 吉岡剛彦さん (佐賀大学教授)



自分の個性が認められてうれしかった経験・認められずにつらかった経験や、毎日楽しく過ごすコツ、SNSでの誹謗中傷やつらい思いをしている人たちへのアドバイスなどを、はるなさんの経験をふまえてお話しいただきました。また、坂井市長からは、制服の選択制や県のパートナーシップ宣誓制度の活用など、佐賀市での取り組みについての紹介があり、一人ひとりの違いをお互い認め合える、多様性を尊重する佐賀市にしていきたいと思いますと呼びかけられました。



感想

第1部の質問タイムに、教育現場で働く参加者から、生徒からカミングアウトされた時の対応についてアドバイスを求められ、愛さんは「身構えずに、わからないことはわからないと伝え、自然体で向き合う姿勢が大切だと思う」と答えられました。

私自身の中学生時代、スカートではなくトレーニングパンツで通学し続けていた同級生の顔が浮かび、当時気づけなかった友の苦しみを想いました。小さなことでも気づいた人が行動を変えていけば、もっと誰もが住みやすい地域に変えられる。私もALLY(理解者・支援者)の一人として出来ることを探したいと、心から思えたフォーラムでした。

(編集委員 友安賀代子)

はるな愛さんは、「ちょっとした気遣いで、みんなが動きやすくなる。普段の生活でも、人と違うことを認め合い、もっとお互いが自然にサポートし合えるようになれば、みんなが生きやすい社会になる」と語られました。私たち一人ひとりが手間を惜しまずに考え行動していくと、多様性を認める社会になるのもそう遠いことではないはずだと思います。

(編集委員 松永光子)

佐賀県パートナーシップ宣誓書受領証の提示により 佐賀市で利用可能なサービス

佐賀市は、令和3年3月に佐賀県と「パートナーシップ宣誓制度の利用に関する協定」を締結しました。
佐賀県でパートナーシップ宣誓を行った人は、佐賀市でも次のサービスを受けることができます。

制度・サービス名	概要	担当課
富士大和温泉病院で面会や病状等の説明を受けること	面会、病状の説明、治療方針の同意、看取りについて家族同様の対応を受けることができます。	富士大和温泉病院
三瀬診療所で病状等の説明等を受けること	病状の説明、治療方針の同意について家族同様の対応を受けることができます。	三瀬診療所
市営住宅の入居の申し込み	パートナーシップ宣誓を行った二人が、同一世帯の場合は、世帯向け市営住宅の申込み入居資格の対象となります。 ※入居者決定は原則抽選のため、入居が確約されるものではありません。	建築住宅課
軽自動車税種別割の減免	身体障がい等がある同一世帯のパートナーのために使用する軽自動車等について、税の減免を受けることができます。	市民税課
水道料金や下水道使用料等の各種証明書等の申請	同一世帯で、パートナーが契約者となっている水道料金や下水道使用料等の収納証明書等を申請する場合の委任状の提出を省略できます。	上下水道局
保育施設に入所を希望する場合の申込み手続き	同一世帯にあり、かつ現に子どもを監護している場合に限り、支給(利用)認定申請兼入所申込みの手続きができます。	保育幼稚園課
利用可能な行政サービス一覧表の提供	希望者に対し、窓口で行政サービス一覧のリーフレットをお渡しします。	市民生活課
市職員の福利厚生	佐賀市職員の場合、特別休暇の適用が受けられます。	人事課

オリジナルロゴマーク

佐賀大学芸術地域デザイン学部と連携し、LGBTQ+ (性的少数者) への理解促進を図るため、佐賀市オリジナルのロゴマークを作成しました。佐賀市を象徴するバルーンをモチーフに、ALLY (アライ) (理解者・支援者) の文字を加えています。



パパと子どもの料理教室開催

令和4年12月24日(土) ほほえみ館 健康料理講習室

パパが料理に取り組むきっかけとなるよう、「パパと子どもの料理教室」を開催しました。講師は、簡単に作れて美味しい料理を自身のブログやYOUTUBE等で紹介されている料理人の藤吉和男さんです。今回は、クリスマスにもぴったりの4品を作りました。



まず、料理の作り方を教わりました。パパも子どもたちも真剣です。



材料を混ぜ合わせて、焼いて、家族で協力してハンバーグをつくります。



同時進行でスープもつくりました。

今回のメニュー



チーズハンバーグ串



グラスサラダ



ふわふわ卵スープ



グラスケーキ

作り方はホームページに掲載しています。ぜひご家庭でチャレンジしてみてください。



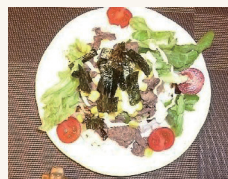
ぱすぽーと編集委員が挑戦！

「パパっとできる、パパごはんレシピ」を作ってみました

佐賀市のホームページで公開されている「パパっとできる、パパごはんレシピ」を見ながら、孫の2歳のバースデーパーティーのため、2品をえらんで作ってみました。初めて調理しましたが、レシピはどれも写真入りで、手順も詳細で分かりやすく、失敗なく短時間で完成することができました。息子夫婦や孫、妻も「美味しい!」と完食してくれてホッとしました。(編集委員 梶島陽一郎)

海苔海苔シシリアンライス

牛肉をフライパンで炒め、ご飯の上のにせるレタスやミニトマト、コーンを準備しておき、ご飯に海苔の佃煮をのせ、準備しておいた具材を盛り付けて、マヨネーズや刻み海苔をふりかけて約30分で完成です。ご飯と海苔の佃煮、焼肉の相性がバッチリで、見た目も華やかです。



「パパっとできる、パパごはんレシピ」公開中! ぜひ作ってみてください。

手作りワンタンスープ鍋

豚ひき肉と具材を混ぜ合わせてワンタンのタネを作ったことがなかったので、粘りが出るのを見極めるのが難しかったです。具材を皮に包む作業が約15分かかりますが、お子さんとすれば楽しいと思います。具材を入れて煮立ってきたら、ぽん酢やラー油で頂きます。ワンタンが最高においしかったです。



男性の家事・育児参画啓発キャンペーン

家族はチームだ!

みんなでやろう家事・育児

家事や育児は、家族が協力し合って取り組むこと。しかしながら、佐賀県の男性の家事関連時間は47分^(※1)で、全国41位とかなり少なく、家事や育児の負担が女性に偏っているのが現状です。「家族はチームだ!みんなで行おう家事・育児」を合言葉に、家事や育児に積極的に取り組むパパの姿をシリーズで紹介していきます。

※1「社会生活基本調査」
(R3・総務省)

市HPでパパさん
続々紹介中!



**育児を取得したからこそ
子どもの成長を逃さず見られました**
妻が里帰り出産から戻ってくるタイミングで、赤ちゃんの顔つきや動きは日々変わり、一瞬一瞬が成長の連続。それを逃さず見られたことが、育児を取得して一番良かったことです。



福井 雄平さん(32歳)
勤務先>九州労働金庫 佐賀支店
家族構成>パパ+ママ+律くん(0歳)
得意な家事>掃除、洗濯、沐浴



**育児を取得したことで
家族との会話がすごく増えました**
双子の誕生を機に、一ヶ月の育児を取得。妻や上の子どもたちとの会話が増えて、家族の絆も深まった気がします。仕事が思いきりできるのは家庭の安定があつてこそ。迷っている人には「育児取った方がいいよ」って言ってあげたいです。



岩永 清邦さん(39歳)
勤務先>認定NPO法人地球市民の会
家族構成>パパ+ママ+郷太郎くん(6歳)+絆那ちゃん(4歳)
+貫柴郎くん、梶志郎くん(1歳)
得意な家事>掃除、洗濯、寝かしつけ(料理以外のこと)



**料理を覚えたら
趣味のキャンプがもっと楽しくなりました**
何もできなかった自分を变えたくて、家事全般に少しずつチャレンジ。料理を覚えたことで、もともと趣味だったキャンプをさらに楽しめるようになりました。今では子どもと妻も巻き込んで、料理もキャンプも満喫しています。



梶原 恵太さん(36歳)
勤務先>株式会社佐賀電算センター
家族構成>パパ+ママ+娘(10歳)+息子(7歳)
得意な家事>掃除、買い物、子どもと遊ぶ



**育児や家事に打ち込んでいたら
「父」になった実感が湧きました。**
正直、最初は自分が親になるなんて信じられない気持ちでした。でも子どもが生まれて、育児や家事に夢中になっていると、自然に父になった実感が湧いてきたんです。親として人と、日々成長させてもらっています。



黒木 翔悟さん(29歳)
勤務先>国立大学法人佐賀大学医学部附属病院
家族構成>パパ+ママ+息子(1歳)
得意な家事>弁当作り、洗濯、掃除



**第二子誕生後の大変な時期をみんなで
乗り越え、家族の絆が強くなりました。**
次男の誕生を機に、佐賀市長として初めて育児を取得しました。仕事と育児と家事の同時進行に四苦八苦する日々ですが、家族とふれあう時間や、懐いてくれる子どもの存在に心が癒されています。



坂井 英隆さん(42歳)
佐賀市長
家族構成>パパ+ママ+長男(4歳)+次男(0歳)
得意な家事>洗濯、ゴミ出し、「名もなき家事」



**育児中心の毎日。
子どもがかわいいから、すべてが楽しい!**
共働きの我が家は、家事も育児も分担制。すべてが子どもを中心に回っていて大人のリバウト時間はほぼありませんが、毎日が楽しい!理由はやっぱり、子どもがかわいいから。それだけで何事も乗り越えられます。



江口 友和さん(48歳)
勤務先>西日本総合コンサルタント株式会社
家族構成>パパ+ママ+娘(5歳)
得意な家事>掃除、洗濯物をたたむ、寝かしつけ

参加しました!

令和4年
10月28日(金)～
30日(日)



日本女性会議
2022 in 鳥取くらし

鳥取県倉吉市で開催された「第39回日本女性会議2022in鳥取くらし」に、市民(ばすぽーと編集委員)と職員の2人で参加しました。

4年ぶりの現地開催となった本大会は、Smile in くらし ～だれもが共に笑顔になれる夢ある未来～をテーマに、1日目は9つの分科会、2日目は全体会として特別講演やシンポジウムが開かれました。

1日目 分科会

- 1 SDGs 未来創造コンテスト
～高校生が夢を叶える第1歩～
- 2 性の権利と健康
「性(いのち)の権利を伝えたい」をカタチにするには
～自分の心とからだを大切に～
- 3 IKIGAI(いきがい) くらし版♪人生会議
～よりよく生きるための今と心づもり～
- 4 女性の活躍 女性が望む道を歩むためには
- 5 防災 避難行動要支援者について知る
～あなたの近くの支援が必要な人へ、いざというときに…～
- 6 子どもの権利
障がいのあるなしに関わらず 共に学ぶ 共に育つ
- 7 ネットフォーラム アバターでコミュニケーション
- 8 ワーク・ライフ・バランス
ジェンダーバイアスフリーの家事参画～手軽、身軽、気軽
の三軽から考えるジェンダーバイアスフリークッキング～
- 9 健康とまちづくり ウェルネスウォーキング

2日目 全体会

基調報告

男女共同参画に関する最新状況について
岡田恵子さん(内閣府男女共同参画局長)

特別講演

だれもが生き生きと輝くために、私たちが考えるジェンダー平等
～未来に向けて若い世代への応援メッセージ!～
上地雄輔さん(俳優・タレント)
秀野山親方(元大関 琴奨菊)

記念シンポジウム

弱者が弱者のままで尊重される社会とは?
～「ひとりでも生きていけそう」と言われる私たちの経験から
鳥取大学地域学部地域創造コース 学生
上野千鶴子さん(東京大学名誉教授・
認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク理事長)



市民(ばすぽーと編集委員)と職員の2人で参加しました。



全国から2,000人以上が参加しました。



参加者が付箋に今後の意気込みを書いて花を咲かせました。

感想 大会のオープニングイベントの手話パフォーマンスをはじめ、それぞれの分科会も見所満載、主催者の方々のきめ細やかな対応に感動し、まさに「フェイス・トゥー・フェイス(対面)」のつながりの大切さを経験させていただきました。記念シンポジウムでは、鳥取大学の女子大学生3人と上野千鶴子さんがパネリストとして参加されました。大学生たちが、女性であることに対して揺れ動く感情と矛盾に真摯に立ち向かっている姿に、上野さんからエールが送られました。(編集委員 高橋朋子)

感想 分科会のテーマにアバターを使ったコミュニケーションが取り上げられていたのが斬新でした。また、参加した分科会2では、「もっと気楽に楽しくまじめに性を考える場」と題して、みんなが健康や幸福の実現のために性について話せるようになるにはどうしたらいいかを考えました。性についての教育も最近注目され始めたテーマであり、今回の会議ではいろいろな新しい考え方やもの見方を学びました。(人権・同和政策・男女参画課 内田尚子)

研修会 開催報告

令和4年度 ワーク・ライフ・バランス推進のための公開研修会 「ポストコロナ時代の働き方とダイバーシティ」



日時:令和5年1月17日(火) 13:30~15:30 会場:佐賀市立図書館 多目的ホール

講師 浜田 敬子さん(ジャーナリスト)

<プロフィール>

1989年に朝日新聞社に入社。2014年からAERA編集長。2017年3月末に朝日新聞社を退社後、世界12カ国で展開する経済オンラインメディアBusiness Insiderの日本版を統括編集長として立ち上げる。2020年末に退任し、フリーランスのジャーナリストに。2022年8月に一般社団法人デジタル・ジャーナリスト育成機構を設立。

コロナ禍による変化

新型コロナウイルスの流行によって、私たちの常識が変わらざるを得なくなりました。いろいろなことがオンラインで出来ることがわかって時間が効率よく使えるようになり、日本人の働き方に大きな影響を及ぼしました。世界では、働き方だけではなく、ダイバーシティの推進やジェンダーギャップ解消においても急速に変わってきています。

日本の課題と現状

一番の少子化対策は、女性の賃金と雇用が安定することです。また、労働力不足解消のカギの一つが女性だといわれています。日本で経済分野での女性活躍が進まない背景にあるのは、家事育児を女性に任せて長時間労働をする男性中心の働き方です。女性が家事育児のために仕事を辞めると、次に正社員になるのは難しく、非正規雇用になってしまうことが多くあります。必要なのはパートナーとの家事育児の分担に加えて、女性の背中を押すようなキャリア支援です。

変わり始めた企業

女性管理職50%を達成しているある企業では、社員が若い時から徹底して男女のチャンスを均等にしています。また、「男性中心の企業では成長が止まる」という信念から、徹底したアンコンシャスバイアスの研修を行い、そのプログラムを公開している企業、男性社員の採用難から女性を採用した結果、新たな発想が生まれ事業が拡大した企業、男性は営業、女性は内勤という考え方を止め、ジョブローテーションを行うことで営業がのびた企業もあります。



会場開催に加えて、後日録画配信も行い、多くの皆さんに受講していただきました。

ポストコロナ時代だからこそ

ポストコロナの時代は不確実な時代。だからこそ多様な価値観に対応できる多様な発想、多様な人材がどんな組織にも必要です。ミレニアル世代やZ世代の価値観は大きく変わり、人権の意識も高まっています。自分の生活を大事にできる企業で働きたい人が増えていて、“より稼げる企業”から“より平等な企業”へと、いい会社の定義も変わってきています。グッドカンパニーとグッドビジネスの両立が求められています。

<<感想>>

浜田さんの体験と豊富な取材で得た知識で具体例を挙げながら展開されるお話に圧倒されました。“知識を高めると意識を高めることができる”という言葉が印象に残りました。
(編集委員 矢ヶ部ひとみ)

5 ジェンダー平等を
実現しよう



ジェンダーの平等を達成しすべての 女性と女の子のエンパワーメントを図る



名前のない家事

家事や育児・介護といったケアには、ジェンダーの問題が深くかかわっています。女性の働き方の仕組みは、男女雇用機会均等法の施行以降少しずつ整っていますが、家庭内は実態が見えにくかったため「家事や看護・介護は女の仕事」という性別役割分担が温存されてきました。

最近、家事が議論されるようになった中に「名前のない家事」があります。家族で家事シェアをしていると思っている場合でも、それは「名前のある家事」であることが多くあります。

一例

名前のある家事	名前のない家事
料理を作る	・ 家にある食料在庫を把握して予算内で献立を考えて買い物に行く
食器を洗う	・ 買ったものを仕分けして、それぞれの方法で収納する
ゴミを捨てる	・ 家中のゴミ箱を集めて、ゴミを仕分けする、まとめる ・ 袋をセットしてゴミ箱を元の位置に戻す
洗濯をする 干す、たたむ	・ 洗濯物を仕分けする。予め下洗いや部分洗いをする ・ 洗剤の残量を把握、購入。洗剤を詰め替える
乳幼児を風呂に入れる	・ 服を脱がせる、風呂上がりに着るものを準備する ・ 体を拭き、髪を乾かしてやる、水分を摂らせる
乳幼児に食べさせる	・ 離乳食は別に作る、月齢と共に内容、回数を変える ・ アレルギー、喉に詰まらせる食材に注意する ・ こぼしたものを片付ける、汚した衣服、エプロンを洗う

名前のない家事はシェアや外注が難しく、家事の担い手の負担となっています。家事は原状復帰作業が多く気づかれにくいですが、快適な生活を送れるのは、こういう家事の積み重ねだと気づいてほしいです。

(編集委員 草場栄美)

編集後記

今年度は、はるな愛さんのフォーラムや研修会が録画配信されたり、コロナ禍で縮小されていた日本女性会議が再開されたりして、充実した1年でした。

さて、先日2022年の出生数が統計開始以来80万人(厚労省人口動態調査・速報値)を割り込み過去最少となったと発表がありました。未来を担う子どもたちの少子化に歯止めがかからないものか。子ども・子育て政策を進めていくためにも男女共同参画の推進は重要な鍵になるのではないのでしょうか。

(編集委員 松永光子)

編集委員

(五十音順)
 栞島陽一郎・草場栄美・高橋朋子・友安賀代子・
 松永光子・矢ヶ部ひとみ
 ※編集委員は市民の方々にご協力いただいています。

【発行・お問い合わせ】

佐賀市男女共同参画課
 TEL.0952-40-7014
 E-mail danjo@city.saga.lg.jp
 URL <http://www.city.saga.lg.jp/> (佐賀市HP)